

生体内D-アミノ酸研究の最前線

京都大学未来創成学国際研究UNIT

奈良女子大学共生科学研究センター共催

2018年 8月30日 木

無料

時間 14:00~16:00(受付13:30~)

会場:奈良女子大学理学部会議室

プログラム

司会:池原健二(奈良女子大学名誉教授・G&L共生研究所)

14:00-14:05 ご挨拶
保 智己 (奈良女子大学共生科学研究センター長)

14:05-14:35 D-アミノ酸研究の最先端
藤井紀子(京都大学複合原子力科学研究所客員教授)

14:45-15:45 特別招待講演
D- Aspartate oxidase activity prevents D-aspartate dependent NMDA neurotoxicity
Alessandro Usiello 教授 (The Second University of Naples, Italy.
Director, Neuroscience Laboratory, CEINGE)

講演概要:

生体内のアミノ酸は、すべてL-型で、D-アミノ酸は、存在しないと定義されてきました。しかし、近年、脳内で、D-アスパラギン酸(D-Asp)が神経伝達に關与するNMDA受容体に結合することが明らかとなりました。D-Aspは、神経毒性がありますが、その毒性をD-Asp酸化酵素が防ぐという最新の研究を発表します。

15:45-16:00 Discussion

17:00- 懇親会

問い合わせ 京都大学複合原子力科学研究所 TEL: 072-451-2496
窓口 奈良女子大学共生科学研究センター TEL: 0742-20-3935